

平成 25 年度

事業報告書

決算書

目 次

I. 平成 25 年度事業報告書

1. 事業概況（平成 25 年度を振り返って）	3
2. 総 裁	3
3. 役員構成	3
4. 会員数	3
5. 会議等	4
6. 登記事項	5
7. 組織及び職員数	5
8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈	6
9. 発明奨励振興事業	6
(1) 全国発明表彰	6
(2) 地方発明表彰	7
(3) 戦後日本のイノベーション 100 選	7
10. 青少年創造性開発育成事業	7
(1) 第 72 回全日本学生児童発明くふう展	7
(2) 第 35 回未来の科学の夢絵画展	8
(3) 少年少女発明クラブ事業	8
(4) 地域活性化アイデア創作活動の実施	10
(5) 第 4 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト	10
(6) 第 57 回東京都児童生徒発明くふう展	10
(7) 青少年創造性開発育成海外交流	10
(8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業	11
(9) 青少年創造性開発育成委員会	11
(10) 青少年の創造性開発育成事業に対する協賛制度	11
11. 知的財産権制度普及等事業	11
(1) 国際知的財産保護フォーラム	11
12. 地域機関との相互連携	12
(1) 地域協会会長等懇談会	12
13. 関係省庁への協力	12
(1) 文部科学省表彰関係事業への協力	12
(2) 特許庁産業財産権制度関係表彰事業への協力	12
14. 東京発明推進協議会	12
15. 公益事業の広報活動	12

II. 平成 25 年度決算書

貸借対照表	13
正味財産増減計算書	14
正味財産増減計算書内訳表	15
財務諸表に対する注記	16
附属明細書	17
財産目録	18
収支計算書	20
収支計算書（資金ベース）	21

I. 平成 25 年度事業報告書

1. 事業概況（平成 25 年度を振り返って）

当協会は公益社団法人として一層の社会的な責任を果たすべく、我が国における科学技術の振興に向けた発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度普及等の公益事業を積極的に推進した。

まず、皇室より御下賜金を拝受し、全国発明表彰においては恩賜発明賞を、全日本学生児童発明くふう展においては恩賜記念賞をそれぞれ最も優秀な発明及び作品に贈呈した。また、発明奨励振興事業においては、我が国科学技術の振興と産業経済の発展に寄与すべく、全国発明表彰及び地方発明表彰を実施した。更に青少年創造性開発育成事業においては、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展を開催するとともに、全国に展開している少年少女発明クラブ事業の一層の周知を図るべく全国少年少女発明クラブ創作展を開催した。全国少年少女チャレンジ創造コンテスト事業においては、新たな課題を設定することで、青少年の創造性開発育成に資する、より効果的な事業とした。なお、青少年創造性開発育成事業に対する協賛制度においては平成 25 年度も数多くの企業より協賛を得ることができた。加えて、創立 110 周年を記念して実施する「戦後日本のイノベーション 100 選」については、有識者等による選定作業を着実に進めた。

以下、平成 25 年度の事業について報告する。

2. 総 裁 常 陸 宮 殿 下

3. 役 員 構 成 （平成 26 年 3 月 31 日現在）

会 長	1 名（代表理事）
副 会 長	6 名（内 1 名代表理事）
専務理事	1 名（業務執行理事）
常務理事	1 名（業務執行理事）
理 事	35 名
監 査 役	2 名
特別顧問	2 名
顧 問	3 名
参 与	3 名
幹 事	164 名

4. 会 員 数 （平成 26 年 3 月 31 日現在）

483 名

5. 会 議 等

(1) 定時総会

日 時 平成 25 年 6 月 18 日 (火) 13 : 15 ~ 14 : 00
場 所 ホテルオークラ 別館地下 2 階「アスコットホールⅡ」
議 題 <決議事項>
第 1 号議案 平成 24 年度事業報告及び決算承認の件
第 2 号議案 理事及び監査役選任の件
<報告事項>
平成 25 年度事業計画及び同収支予算報告の件

(2) 理事会

- ①日 時 平成 25 年 5 月 20 日 (月) 12 : 00 ~ 13 : 15
場 所 霞山会館「霞山の間」
議 題 (1) 平成 24 年度事業報告 (案) について
(2) 平成 24 年度決算 (案) について
(3) 理事及び監査役選任 (案) について
(4) 定時総会の招集 (案) について
(5) 幹事の推薦について
(6) 報告事項
・代表理事等の職務執行状況について
・一般社団法人発明推進協会からの特定寄附受入について
(7) その他
・平成 24 年度における青少年創造性開発育成事業に対する協賛制度の結果について
・平成 25 年度公益財団法人 JKA 補助事業について
- ②日 時 平成 25 年 6 月 18 日 (火) 14 : 05 ~ 14 : 15
場 所 ホテルオークラ 別館地下 2 階「アスコットホールⅢ」
議 題 (1) 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について
(2) 代表理事の選定について
(3) 幹事の推薦について
(4) 報告事項
・寄付金の税額控除制度の適用について
- ③日 時 平成 26 年 3 月 25 日 (火) 12 : 00 ~ 13 : 30
場 所 霞山会館「霞山の間」
議 題 (1) 平成 26 年度事業計画・同収支予算 (案) について
(2) 特別功労者について
(3) 報告事項
・創立 110 周年記念式典について
・「戦後日本のイノベーション 100 選」について
・代表理事等の職務執行状況の報告

(3) 幹事会

日 時 平成 25 年 6 月 18 日 (火) 14 : 15 ~ 14 : 25
場 所 ホテルオークラ 別館地下 2 階「アスコットホールⅢ」
報告事項 (1) 平成 25 年度事業計画及び同収支予算について

(2) 戦後日本のイノベーション 100 選について

(4) 懇談会

(一社)発明推進協会との共催により、下記の通り懇談会を開催した。

日 時 平成 25 年 12 月 10 日 (火) 16 : 00 ~ 16 : 45

場 所 霞山会館 霞山の間

報告事項 (1) 創立 110 周年記念式典について
(2) 戦後日本のイノベーション 100 選について
(3) その他
・実施事業について

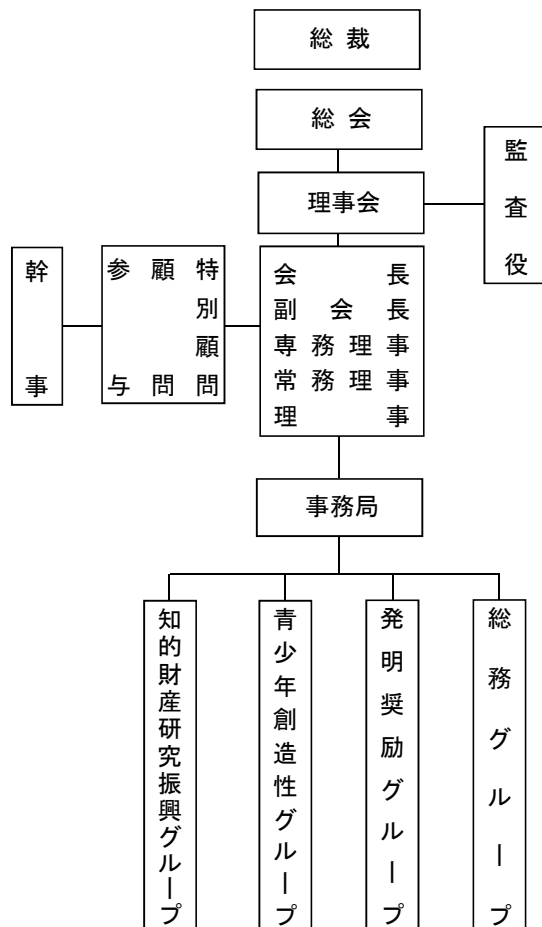
6. 登 記 事 項

理事変更登記

平成 25 年 6 月 27 日 (木)

7. 組織及び職員数 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

機構・組織図



職員数 19 名

8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈

平成 25 年度全国発明表彰において、独創性に富む極めて優れた発明により我が国科学技術の振興と産業の発展に大きく貢献した発明者に恩賜発明賞を、また、第 72 回全日本学生児童発明くふう展において、最も優秀な作品の創作者に恩賜記念賞を贈り、その栄誉をたたえた。

- 恩賜発明賞 「新規統合失調症治療薬・アリピプラゾールの発明」
大城 靖男 大塚製薬株式会社
佐藤 誠司 大塚製薬株式会社
倉橋 伸幸 大塚アメリカファーマシューティカルインク
- 恩賜記念賞 「プロジェクター X 5 0」
前田 朝陽 千葉県君津市立中小学校 6 年

9. 発明奨励振興事業

(1) 全国発明表彰

主催 (公社) 発明協会
後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会、朝日新聞社

本年度は、全国各道府県における発明協会(以下、「地域協会」という。)、企業、関係団体等からの推薦により、平成 25 年 2 月 8 日(金)から 3 月 14 日(木)にかけて電気・化学・機械・意匠及び 21 世紀専門部会を開催し、平成 25 年 4 月 9 日(火)の選考委員会において審査を行い、第 1 表彰区分として恩賜発明賞、内閣総理大臣発明賞等の特別賞ほか各賞を、第 2 表彰区分として 21 世紀発明賞及び 21 世紀発明奨励賞を選考した。

また、恩賜発明賞、内閣総理大臣発明賞等特別賞を受賞した法人の代表者に発明実施功績賞を、21 世紀発明賞、21 世紀発明奨励賞を受賞した法人の代表者に 21 世紀発明貢献賞をそれぞれ贈呈した。

表彰式は、平成 25 年 6 月 18 日(火)ホテルオークラ東京において、当協会総裁常陸宮殿下同妃殿下御臨席のもと、杉田内閣官房副長官、福井文部科学副大臣、平経済産業大臣政務官兼内閣府大臣政務官をはじめとする来賓や各界から多数の参列者を得て挙行了した。

○第 1 表彰区分

恩賜発明賞 1 件 3 名 特別賞 9 件 33 名 発明賞 11 件 41 名
発明実施功績賞 10 件 12 名

○第 2 表彰区分

21 世紀発明賞 1 件 6 名
21 世紀発明奨励賞 1 件 2 名
21 世紀発明貢献賞 1 件 1 名

○発明奨励功労賞 7 名

なお、恩賜発明賞の受賞者には副賞として畠山一清賞を贈呈した。その他特別賞受賞者

に対し副賞を贈呈した。

(2) 地方発明表彰

主催 (公社) 発明協会
共催 全国の地域協会
後援 文部科学省、特許庁、中小企業庁、各経済産業局、北海道、秋田県、新潟県、石川県、滋賀県、岡山県、愛媛県、宮崎県、日本弁理士会

本年度は、全国の地域協会から多数推薦された中から、平成 25 年 7 月 31 日 (火) に開催した中央選考委員会及び平成 25 年 8 月下旬から 9 月上旬にかけて各地方で開催した地方選考委員会において各賞を選考した。

また、表彰式は、以下のとおり平成 25 年 10 月上旬から 11 月下旬にかけて挙行し、計 475 件、1,335 名を表彰した。

なお、近畿地方発明表彰式においては、当協会総裁常陸宮殿下同妃殿下の御臨席を仰ぎ、吉田文部科学省研究振興局長、羽藤特許庁長官、嘉田滋賀県知事を始め来賓多数の参列者を得て挙行した。

- ・北海道地方発明表彰式 平成 25 年 10 月 28 日 (月) 北海道小樽市
- ・東北地方発明表彰式 平成 25 年 10 月 9 日 (水) 秋田県秋田市
- ・関東地方発明表彰式 平成 25 年 11 月 8 日 (金) 新潟県新潟市
- ・中部地方発明表彰式 平成 25 年 11 月 15 日 (金) 石川県金沢市
- ・近畿地方発明表彰式 平成 25 年 11 月 25 日 (月) 滋賀県大津市
- ・中国地方発明表彰式 平成 25 年 10 月 23 日 (水) 岡山県岡山市
- ・四国地方発明表彰式 平成 25 年 10 月 16 日 (水) 愛媛県松山市
- ・九州地方発明表彰式 平成 25 年 11 月 1 日 (金) 宮崎県宮崎市

(3) 戦後日本のイノベーション 100 選

平成 26 年度の創立 110 周年を記念し、戦後我が国で興ったイノベーションを選定し、次の時代への指針を残すべく、「戦後日本のイノベーション 100 選」の選定作業を進めた。

前年度実施した一般 WEB アンケートに続き、学界、経済団体等への有識者アンケートを実施し、広く意見を募った。また、選定方法等について検討を行う小委員会を 5 回、選定を行う本委員会を 2 回開催し、「戦後復興期から高度成長期まで」のプロジェクトについて選定を行った。

10. 青少年創造性開発育成事業

(1) 第 72 回全日本学生児童発明くふう展

主催 (公社) 発明協会
後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、(公財) 日本科学技術振興財団・科学技術館、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、(公社) 全国工業高等学校長協会

本年度の全日本学生児童発明くふう展は、各地域で開催された発明くふう展等において優秀な成績を収めた作品を中心に全国の地域協会より推薦された 782 点の作品について、平成 26 年 1 月 9 日（木）に審査幹事会、1 月 21 日（火）に審査委員会を開催して審査を行い、恩賜記念賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

展覧会は、平成 26 年 3 月 26 日（水）から 3 月 30 日（日）まで、東京・北の丸公園内の科学技術館において開催した。

表彰式は、平成 26 年 3 月 27 日（木）当協会総裁常陸宮殿下同妃殿下御臨席のもと、富岡文部科学大臣政務官、田中経済産業大臣政務官、羽藤特許庁長官をはじめ来賓多数の参列を得て、科学技術館「サイエンスホール」において挙行了した。

また、同展の開催に併せて協賛企業等の協力により発明教室等を開催し、多数の児童生徒が創作活動に親しんだ。

・第 72 回全日本学生児童発明くふう展入賞作品

○恩賜記念賞 1 点 ○特別賞 13 点 ○奨励賞 21 点 ○入選 120 点

(2) 第 35 回未来の科学の夢絵画展

主催 (公社) 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、国立科学博物館、日本弁理士会、NHK、朝日新聞社、朝日学生新聞、朝日中学生ウイークリー

協賛 (公社) 日本美術教育連合、(公財) 美育文化協会

全国の小・中学校、幼稚園・保育園及び外国人学校の児童生徒を対象に作品を募集し、本年度は 11,681 点の応募があった。平成 25 年 2 月 20 日（水）の審査委員会で選考された入賞作品を、平成 25 年 4 月 9 日（火）から 4 月 21 日（日）まで東京上野・国立科学博物館に展示した。なお、表彰式は、棒田文部科学省研究振興局振興企画課奨励室長、中尾特許庁総務部総務課長をはじめ来賓多数の参列を得て、4 月 19 日（金）に同博物館日本館講堂において挙行了した。

・「小学校・中学校の部」

○特別賞 11 点 ○優秀賞 52 点 ○奨励賞 77 点

・「幼稚園の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 41 点

・「在日外国人学校の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 4 点 ○奨励賞 11 点

(3) 少年少女発明クラブ事業

①少年少女発明クラブ

本年度、次の少年少女発明クラブが新設され、既設クラブとあわせて全国で 215 ヶ所の発明クラブが活動を行った。

[新設の少年少女発明クラブ]

クラブ名	開設日	場 所
栗東市少年少女発明クラブ	平成 25 年 5 月 21 日	滋賀県栗東市

②2013 全国少年少女発明クラブ創作展

全国の少年少女発明クラブ員が創作した作品の公開展示を通じ、少年少女発明クラブの活動内容を全国に紹介することにより、社会一般への周知と理解を促進し、我が国の未来を担う青少年のための創造性開発育成事業の推進に資することを目的として、「2013 全国少年少女発明クラブ創作展」を開催した。

11月24日（日）には、当協会総裁常陸宮殿下同妃殿下の御観覧を賜り、併せて滋賀県内少年少女発明クラブの合同活動を御視察された。

- ・開催日：平成 25 年 11 月 23 日（土）～24 日（日）
- ・会 場：滋賀県立体育館

③ 第 73 回少年少女発明クラブ全国会議

少年少女発明クラブの指導・運営に携わる関係者を対象に、効果的な指導方法に関する情報交換等を目的とした全国会議を開催した。

- ・開催日：平成 25 年 11 月 23 日（土）～24 日（日）
- ・会 場：ピアザ淡海 及び 滋賀県立体育館（滋賀県大津市）
- ・出席者：全国各発明クラブ会長、企画運営委員、指導員、地域協会担当者等 203 名

④ 第 74 回少年少女発明クラブ全国会議

少年少女発明クラブの指導・運営に携わる関係者を対象に、青少年の創造性開発育成に関する諸課題について研究・討議する全国会議を開催した。

- ・開催日：平成 26 年 2 月 21 日（金）
- ・会 場：発明会館ホール
- ・出席者：全国各発明クラブ会長、企画運営委員、指導員、地域協会担当者等 153 名

⑤少年少女発明クラブ指導員表彰

少年少女発明クラブにおける指導活動に多年従事し、青少年の創造性開発育成に関し特に功績のあった指導員を表彰した。指導員表彰第 1 回目の今回は、64 の発明クラブの 253 名の方々を対象に表彰した。

※第 74 回少年少女発明クラブ全国会議にて表彰した。

⑥ 少年少女発明クラブ指導員研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質の向上を図るため、ブロック別研修会（6 ブロック）及び都道府県別研修会（12 箇所）を開催した。

⑦ 少年少女発明クラブニュースの発行

少年少女発明クラブにおける創意工夫活動の成果、各種イベントの告知・報告、新設クラブの紹介等を掲載した「少年少女発明クラブニュース」を隔月（計 6 回）で発行し、全国の少年少女発明クラブ、全国の地域協会、地方自治体、科学館等を通じて広く一般に配布した。

⑧「はつめいキッズ」ホームページの運営

少年少女発明クラブをはじめとした青少年創造性開発育成事業全般を紹介し、青少年の創造性開発育成の普及を図ることを目的に、ホームページ「はつめいキッズ」の運営

を行った。

*本事業の①、③、⑥、⑦、⑧については、(公財) JKA 補助事業の一部として実施した。

(4) 地域活性化アイデア創作活動の実施

香川県三木町において、子どもたちが地域社会における実際の課題に挑戦し、解決策としてのアイデア創作と発表会を行う創作活動を実施した。

テーマ：「三木町のお宝 探そう・作ろう・有名にしよう隊」

*本事業は、(公財) JKA 補助事業の一部として実施した。

(5) 第4回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

主催 (公社) 発明協会

後援 文部科学省・経済産業省・特許庁・日本弁理士会・NHK・読売新聞社

協賛 全国連合小学校長会・全日本中学校長会

3人一組で課題に取り組む本コンテストにおいて、本年度より新たに「からくりパフォーマンス・カー」を課題として設定し、全国 89 地域で地区大会を開催、811 チーム (2,433 人) が参加した。地区大会の結果を踏まえ、平成 25 年 9 月 30 日 (月) に開催したコンテスト委員会において全国大会に出場する 60 チームを選考した。

全国大会は、平成 25 年 11 月 16 日 (土) 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター体育館において開催し、文部科学大臣賞、特許庁長官賞の特別賞ほか各賞を選考し、競技終了後引き続き、関係官庁及び関係団体等の参列を得て表彰式を挙行了した。

・第4回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト入賞チーム

○特別賞 2 チーム ○優秀賞 8 チーム

*本事業は、(公財) JKA 補助事業の一部として実施した。

(6) 第57回東京都児童生徒発明くふう展

東京都からの請負事業として、第 57 回東京都児童生徒発明くふう展を開催した。展覧会は東京都議会議事堂 1 階都政ギャラリーにおいて平成 25 年 12 月 14 日 (土) ~18 日 (水) にかけて開催し、特別賞 13 点、優秀賞 21 点、入選 50 点の計 84 点を展示した。また、表彰式を会期中の平成 25 年 12 月 15 日 (日) に都議会議事堂 1 階都民ホールにおいて開催した。

(7) 青少年創造性開発育成海外交流

①青少年創造性開発海外交流マレーシア派遣団

マレーシアの発明奨励団体 (Malaysian Invention & Design Society : MINDS) の招聘により、平成 25 年 5 月 7 日 (火) から 13 日 (月) にかけて、第 70 回全日本学生児童

発明くふう展及び第 2 回全国少年少女チャレンジ創造コンテストにおいて優秀な成績をおさめた青少年及び当協会職員の計 14 名による「青少年創造性開発育成海外交流マレーシア派遣団」を結成し、2013 世界青少年発明工夫展に参加した（参加：10 ヶ国・地域、60 点）。

②2013 発明奨励国際フォーラム

海外の発明奨励団体間の国際的連携の促進を目的とし、平成 25 年 5 月 8 日（水）から 10 日（金）にマレーシア・クアラルンプールで開催の 2013 発明奨励国際フォーラム（International Forum for Invention Promotion：IFIP）に代表を派遣した（参加：10 ヶ国・地域）。

*本事業は、（公財）JKA 補助事業の一部として実施した。

(8) 発明の日及び科学技術週間協賛事業

発明の日（平成 25 年 4 月 18 日）及び科学技術週間（平成 25 年 4 月 15 日～21 日）協賛事業として、当協会、地域協会並びに全国の少年少女発明クラブにおいて公開発明教室、発明クラブ作品展、無料発明相談会等各種の協賛事業を行った。

(9) 青少年創造性開発育成委員会

創造性開発育成事業の拡充・強化及び今後の在り方等について審議を行うため、「第 33 回青少年創造性開発育成委員会」を平成 26 年 2 月 25 日（火）に発明会館会議室において開催した。

(10) 青少年の創造性開発育成事業に対する協賛制度

当協会が行う青少年創造性開発育成事業について、広く産業界からの事業協賛を募り同事業の更なる充実を図った。

本年度においては、以下の協賛を得た。

- ・ゴールドスポンサー企業 12 社
- ・シルバースポンサー企業 9 社
- ・ブロンズスポンサー企業 29 社
- ・寄付企業 4 社

11. 知的財産権制度普及等事業

(1) 国際知的財産保護フォーラム

国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）第 4 プロジェクトの幹事機関として、平成 25 年 7 月 20 日（土）に東京都中央区教育センターにおいて「出張 IP カルチャー教室」の開催及び「真正品、模倣品・海賊版の展示」を実施した。後者については、平成 25 年 9 月 21 日（土）に東京都中央区教育センターにおいて、また、平成 26 年 3 月 26 日（水）～30 日（日）に第 72 回全日本学生児童発明くふう展会場においてそれぞれ展示を行った。

更に、IIPPF 第 4 プロジェクト会合を平成 26 年 2 月 12 日（水）に開催し、平成 25 年度の活動及び平成 26 年度の活動計画について審議した。

12. 地域機関との相互連携

(1) 地域協会会長等懇談会

全国で開催される地方発明表彰式にあわせ、地域協会会長等との懇談会を開催し意見交換を行った。

懇談会は、北海道地方・平成 25 年 10 月 28 日（月）、東北地方・平成 25 年 10 月 9 日（水）、関東地方・平成 25 年 11 月 8 日（金）、中部地方・平成 25 年 11 月 15 日（金）、中国地方・平成 25 年 10 月 23 日（水）、四国地方・平成 25 年 10 月 16 日（水）、九州地方・平成 25 年 11 月 1 日（金）の日程で開催した。

13. 関係省庁への協力

(1) 文部科学省表彰関係事業への協力

科学技術の振興と発明の普及に寄与するため、叙勲、褒章並びに科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門、研究部門、技術部門等）の表彰対象者の調査並びに推薦を行った。

(2) 特許庁産業財産権制度関係表彰事業への協力

経済産業省・特許庁が実施した「産業財産権制度関係功労者表彰」並びに「産業財産権制度活用優良企業等表彰」の表彰対象者等の調査並びに推薦を行った。

14. 東京発明推進協議会

平成 26 年 1 月 17 日（金）に新年賀詞交歓会を開催し、会員、来賓等との交流を図った。

15. 公益事業の広報活動

当協会が行う各種公益事業について掲載する機関紙「月報はつめい」を配付するとともにホームページにおいて広報活動に努めた。

貸 借 対 照 表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	101,229,273	82,139,826	19,089,447
未収入金	27,356,932	37,008,970	△ 9,652,038
預け金	4,714,516	4,414,017	300,499
前払費用	1,062,153	0	1,062,153
流動資産合計	134,362,874	123,562,813	9,737,908
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
青少年創造特定資産	2,000,000	0	2,000,000
退職給付引当資産	9,000,000	4,500,000	4,500,000
特定資産合計	11,000,000	4,500,000	6,500,000
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	11,000,000	4,500,000	6,500,000
資産合計	145,362,874	128,062,813	17,300,061
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	10,719,436	10,706,893	12,543
未払金	90,824,867	100,468,785	△ 9,643,918
前受金	11,830,000	4,680,000	7,150,000
預り金	1,621,112	1,520,344	100,768
流動負債合計	114,995,415	117,376,022	△ 2,380,607
2. 固定負債			
退職給付引当金	9,000,000	4,500,000	4,500,000
固定負債合計	9,000,000	4,500,000	4,500,000
負債合計	123,995,415	121,876,022	2,119,393
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
寄付金	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	21,367,459	6,186,791	15,180,668
(うち特定資産への充当額)	(2,000,000)	(0)	(2,000,000)
正味財産合計	21,367,459	6,186,791	15,180,668
負債及び正味財産合計	145,362,874	128,062,813	17,300,061

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御 下 賜 金	50,000	50,000	0
(2) 受 取 会 費	34,070,000	34,710,000	△ 640,000
(3) 事 業 収 益	4,048,918	3,903,194	145,724
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 収 益	(4,048,918)	(3,903,194)	(145,724)
(4) 受 取 補 助 金 等	26,636,932	34,685,834	△ 8,048,902
① J K A 補 助 金	(26,636,932)	(34,685,834)	(△ 8,048,902)
(5) 受 取 寄 付 金 ・ 受 取 協 賛 金 等	257,491,093	0	257,491,093
① 資 金 寄 付 ・ 協 賛 金 収 益	(66,408,093)	(0)	(66,408,093)
② 資 金 寄 付 振 替 額	(21,815,000)	(0)	(21,815,000)
③ 特 定 寄 付 収 益	(169,268,000)	(0)	(169,268,000)
(6) 雑 収 益	141,804	61,043	80,761
(7) 指 定 正 味 財 産 からの 振 替 額	0	244,887,762	△ 244,887,762
経 常 収 益 計	322,438,747	318,297,833	4,140,914
2. 経常費用			
(1) 事 業 費	275,349,294	290,003,084	△ 14,653,790
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 費	(157,422,232)	(158,520,772)	(△ 1,098,540)
② 事 業 人 件 費	(95,836,961)	(107,746,610)	(△ 11,909,649)
③ 事 業 事 務 費	(22,090,101)	(23,735,702)	(△ 1,645,601)
(2) 管 理 費	31,908,785	22,107,958	9,800,827
① 人 件 費	(8,511,631)	(6,403,157)	(2,108,474)
② 事 務 費	(23,397,154)	(15,704,801)	(7,692,353)
経 常 費 用 計	307,258,079	312,111,042	△ 4,852,963
当 期 経 常 増 減 額	15,180,668	6,186,791	8,993,877
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	15,180,668	6,186,791	8,993,877
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	6,186,791	0	6,186,791
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	21,367,459	6,186,791	15,180,668
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受 取 寄 付 金	21,815,000	244,887,762	△ 223,072,762
① 資 金 寄 付	(21,815,000)	(244,887,762)	(△ 223,072,762)
(2) 一 般 正 味 財 産 への 振 替 額	△ 21,815,000	△ 244,887,762	223,072,762
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	21,367,459	6,186,791	15,180,668

正味財産増減計算書内訳表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1 発明奨励等	小計			
I 一般正味財産増減の部					
[1]経常増減の部					
1. 経常収益					
(1) 御下賜金	50,000	50,000	0		50,000
(2) 受取会費	17,035,000	17,035,000	17,035,000		34,070,000
(3) 事業収益	4,048,918	4,048,918	0		4,048,918
① 発明奨励等事業収益	(4,048,918)	(4,048,918)	(0)		(4,048,918)
(4) 受取補助金等	26,636,932	26,636,932	0		26,636,932
① JKA補助金	(26,636,932)	(26,636,932)	(0)		(26,636,932)
(5) 受取補助金等	227,578,444	227,578,444	29,912,649		257,491,093
① 資金寄付・協賛金収益	(63,082,860)	(63,082,860)	(3,325,233)		(66,408,093)
② 資金寄付振替額	(21,815,000)	(21,815,000)	(0)		(21,815,000)
③ 特定寄付収益	(142,680,584)	(142,680,584)	(26,587,416)		(169,268,000)
(6) 雑収益	0	0	141,804		141,804
経常収益計	275,349,294	275,349,294	47,089,453	0	322,438,747
2. 経常費用					
(1) 事業費	275,349,294	275,349,294	0		275,349,294
① 発明奨励等事業費	(157,422,232)	(157,422,232)	(0)		(157,422,232)
② 事業人件費	(95,836,961)	(95,836,961)	(0)		(95,836,961)
③ 事業事務費	(22,090,101)	(22,090,101)	(0)		(22,090,101)
(2) 管理費	0	0	31,908,785		31,908,785
① 人件費	(0)	(0)	(8,511,631)		(8,511,631)
② 事務費	(0)	(0)	(23,397,154)		(23,397,154)
経常費用計	275,349,294	275,349,294	31,908,785	0	307,258,079
当期経常増減額	0	0	15,180,668	0	15,180,668
[2]経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替高	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	15,180,668	0	15,180,668
一般正味財産期首残高	0	0	6,186,791	0	6,186,791
一般正味財産期末残高	0	0	21,367,459	0	21,367,459
II 指定正味財産増減の部					
(1) 受取寄付金	21,815,000	21,815,000	0		21,815,000
① 資金寄付	(21,815,000)	(21,815,000)	(0)		(21,815,000)
(2) 一般正味財産への振替額	△ 21,815,000	△ 21,815,000	0		△ 21,815,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	21,367,459	0	21,367,459

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金: 役員退職手当金については、役員の退職手当金支給に備えるため、規則に基づく期末要支給額を計上

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
青少年創造特定資産	0	2,000,000	0	2,000,000
退職給付引当資産	4,500,000	4,500,000	0	9,000,000
合 計	4,500,000	6,500,000	0	11,000,000

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
青少年創造特定資産	2,000,000	(—)	(2,000,000)	(—)
退職給付引当資産	9,000,000	(—)	(—)	(9,000,000)
合 計	11,000,000	(0)	(2,000,000)	(9,000,000)

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
平成24年度公益事業振興補助事業	公益財団法人JKA	0	26,636,932	26,636,932	0	
合 計		0	26,636,932	26,636,932	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額 資金寄付振替額	21,815,000
合 計	21,815,000

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

〔単位:円〕

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,500,000	4,500,000	0	0	9,000,000

財 産 目 録

平成26年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現 金	手元保管	運転資金として	1,421,101
預 金	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	59,742,366
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	37,117,364
	普通預金(りそな銀行東京営業部)	運転資金として	1,840,078
	振替貯金(ゆうちょ銀行本店)	運転資金として	1,108,364
未 収 入 金	公益財団法人JKA他	公益目的事業に係る補助金他	27,356,932
預 け 金	札幌中島少年少女発明クラブ他	公益目的事業に係る運営事業費として	4,714,516
前 払 費 用	株式会社発明会館	借室料として	1,062,153
流 動 資 産 合 計			134,362,874
(固定資産)			
特定資産			
青少年創造特定資産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	青少年創造性育成開発	2,000,000
退職給付引当資産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	退職給付引当金見合の引当資産	9,000,000
特 定 資 産 合 計			11,000,000
その他固定資産			
その他固定資産合計			0
固 定 資 産 合 計			11,000,000
資 産 合 計			145,362,874
(流動負債)			
買 掛 金	㈱シグマコミュニケーションズ他	公益目的事業に係る展示設営費他	10,719,436
未 払 金	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業に係る出向料他	90,824,867
前 受 金	会員	公益目的事業に係る26年度会費	11,830,000
預 り 金	芝税務署他	公益目的事業に係る所得税他	1,621,112
流 動 負 債 合 計			114,995,415
(固定負債)			
退職給付引当金	役員に対するもの	退職金の支払いに備えるもの	9,000,000
固 定 負 債 合 計			9,000,000
負 債 合 計			123,995,415
正 味 財 産			21,367,459

収 支 計 算 書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御 下 賜 金	50,000	50,000	0
(2) 受 取 会 費	34,560,000	34,070,000	490,000
(3) 事 業 収 益	3,538,000	4,048,918	△ 510,918
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 収 益	(3,538,000)	(4,048,918)	(△ 510,918)
(4) 受 取 補 助 金 等	41,161,000	26,636,932	14,524,068
① J K A 補 助 金	(41,161,000)	(26,636,932)	(14,524,068)
(5) 寄 付 金 ・ 協 賛 金 収 入	0	257,491,093	△ 257,491,093
① 資 金 寄 付 ・ 協 賛 金 収 入	(0)	(66,408,093)	(△ 66,408,093)
② 資 金 寄 付 振 替 額	(0)	(21,815,000)	(△ 21,815,000)
③ 特 定 寄 付 収 入	(0)	(169,268,000)	(△ 169,268,000)
(6) 雑 収 益	100,000	141,804	△ 41,804
(7) 指 定 正 味 財 産 か ら の 振 替 額	270,268,000	0	270,268,000
経 常 収 益 計	349,677,000	322,438,747	27,238,253
2. 経常費用			
(1) 事 業 費	328,084,000	275,349,294	52,734,706
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 費	(200,028,000)	(157,422,232)	(42,605,768)
② 事 業 人 件 費	(101,081,000)	(95,836,961)	(5,244,039)
③ 事 業 事 務 費	(26,975,000)	(22,090,101)	(4,884,899)
(2) 管 理 費	21,561,000	31,908,785	△ 10,347,785
① 人 件 費	(4,850,000)	(8,511,631)	(△ 3,661,631)
② 事 務 費	(16,711,000)	(23,397,154)	(△ 6,686,154)
経 常 費 用 計	349,645,000	307,258,079	42,386,921
当 期 経 常 増 減 額	32,000	15,180,668	△ 15,148,668
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	32,000	15,180,668	△ 15,148,668
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	6,186,791	6,186,791	0
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	6,218,791	21,367,459	△ 15,148,668
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受 取 寄 付 金	270,268,000	21,815,000	248,453,000
① 資 金 寄 付 ・ 協 賛 金	(270,268,000)	(21,815,000)	(248,453,000)
(2) 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 270,268,000	△ 21,815,000	△ 248,453,000
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	6,218,791	21,367,459	△ 15,148,668

(説明資料)

収 支 計 算 書 (資金ベース)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 御 下 賜 金	50,000	50,000	0
(2) 会 費 収 入	34,560,000	34,070,000	490,000
(3) 事 業 収 入	3,538,000	4,048,918	△ 510,918
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 収 入	(3,538,000)	(4,048,918)	(△ 510,918)
(4) 補 助 金 等 収 入	41,161,000	26,636,932	14,524,068
① J K A 補 助 金 収 入	(41,161,000)	(26,636,932)	(14,524,068)
(5) 寄 付 金 ・ 協 賛 金 収 入	270,268,000	257,491,093	12,776,907
① 資 金 寄 付 ・ 協 賛 金 収 入	(105,000,000)	(88,223,093)	(16,776,907)
② 特 定 寄 付 収 入	(165,268,000)	(169,268,000)	(△ 4,000,000)
(6) 雑 収 入	100,000	141,804	△ 41,804
事業活動収入計	349,677,000	322,438,747	27,238,253
2. 事業活動支出			
(1) 事 業 費 支 出	324,252,000	271,906,794	52,345,206
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 支 出	(200,028,000)	(157,422,232)	(42,605,768)
② 事 業 人 件 費	(101,081,000)	(95,836,961)	(5,244,039)
③ 事 業 事 務 費	(23,143,000)	(18,647,601)	(4,495,399)
(2) 管 理 費 支 出	20,893,000	30,851,285	△ 9,958,285
① 人 件 費	(4,850,000)	(8,511,631)	(△ 3,661,631)
② 事 務 費	(16,043,000)	(22,339,654)	(△ 6,296,654)
事業活動支出計	345,145,000	302,758,079	42,386,921
事業活動収支差額	4,532,000	19,680,668	△ 15,148,668
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
(1) 特 定 資 産 支 出	0	4,500,000	△ 4,500,000
投資活動支出計	0	4,500,000	△ 4,500,000
投資活動収支差額	0	△ 4,500,000	4,500,000
当期収支差額	4,532,000	15,180,668	△ 10,648,668
前期繰越収支差額	6,186,791	6,186,791	0
次期繰越収支差額	10,718,791	21,367,459	△ 10,648,668

以上の通り相違ありません。

平成26年5月15日

公益社団法人 発 明 協 会

会 長 庄 山 悦 彦

平成25年度事業報告書及び財務諸表について監査した結果、いずれも適正かつ適法であることを認めます。

平成26年5月15日

監査役 梶 原 徳 二

監査役 安 井 義 博